

先週末に「はやぶさ2」が投下した小惑星リュウグウの石が入っているカプセルが地球に着地、回収されました。「はやぶさ2」は、2014年12月に打ち上げられ、2018年6月に小惑星リュウグウに到着、2019年末に出発して地球に帰還しました。5年の歳月をかけ、目標であるカプセルの投下、回収を無事済ませた宇宙航空研究開発機構(JAXA)の皆さんはほっとしていると思います。

今年も残り3週間ほどとなりました。今年の初めに皆さんは、どんな目標を立てましたか。この1年の学校・家庭生活を振り返って、その達成状況を確認してほしいと思います。そして、残された3週間は、1年の有終の美を飾れるような生活にしてほしいと思います。冬の夜空の星のように、皆さんが光り輝くようにと願っています。

人権に関する絵本の読み聞かせ

先週の4日(金)から人権週間が始まり、10日(木)まで続きます。職員室前廊下の掲示板には、人権週間に関する掲示物が貼ってあります。ぜひ見て読んでほしいと思います。

7日(月)の全校朝礼時に、地域学校協働本部とボランティアの方々に、人権に関する絵本の読み聞かせを実施していただきました。一昨年度から始め、3年目となります。

今年度の絵本は、『パパのしごとはわるものです』。

父親の仕事を知らない少年が、あるとき仕事に行く父親の後ろをこっそりついていくと、なんと悪役レスラーだった…。

プロレスには、必ず出てくる悪役レスラーですが、その素顔が気になります。悪役レスラーと言われても、自分の仕事に誇りをもって、堂々と息子に語る父親。

6名の読み聞かせの方々が、迫力のプロレスシーンや少年の心の動きを登場人物に合わせた読み方とBGM等の音で、この絵本の魅力を十分伝えていただきました。ありがとうございました。



メイク・ア・ウィッシュの本紹介

先月の19日(木)に、「メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」の大野寿子さんを招いて人権・道徳講演会を行いました。その際、大野さんから3冊の本を紹介していただき、図書室用に学校で購入しました。

最初の1冊は、大野さん自身が著者となっている『メイク・ア・ウィッシュ 夢の実現が人生を変えた』です。12人の難病の子どもたちの夢を実現するまでのお話が、一人ずつのまとまりで載っています。残りの2冊は、大野さんの本の中に出てくる少女、清水美緒さんの絵本『いちばん大切なもの』と大野さんに関わりのあった少年、米野嘉朗さんの『いつかぼくもビーズになる!〜よっくんのポエム〜』です。冬休み前に図書室に入りますので、ぜひ手に取って読んでみてください。最後に、よっくんの詩を一つ紹介します。



「ビーズとすず」

ぼくは今ビーズにこっている
いろんな色のビーズをつないでいる
丸く丸く作っている

その中にすずを入れてみた

すずはぼく まわりのビーズは家族、友達… 先生、看護婦さん…

いつもぼくを守っていてくれる

いつかぼくもビーズになる